

大規模災害協定に基づく連絡会（熊毛ブロック）議事録

場所：屋久島環境文化村センター（レクチャー室）

期日：平成28年6月7日（火）14：10～15：20

参加者：熊毛支庁 大塚建設部長兼建設課長 若元技術主幹
渡辺係長 門前技術主幹
町田技術主幹 上村技術主幹
屋久島事務所 今和泉建設課長 佐多技術補佐
川路技術主幹 長崎技術主幹
測量設計業協会 安永会長 下水流理事
連絡責任者（正）鹿児島土木設計(株) 国師・鎌田
連絡責任者（副）(株)建設技術コンサルタント 金丸
地質調査業協会 宇都理事長 岩田副理事長 今村理事 田淵理事
川邊理事 川崎監事 城ヶ崎班長 貴島副班長

会議資料

熊毛支庁より

- 1、資料1 平成28年度の連絡体制（熊毛支庁建設部）
- 2、資料2 熊毛支庁管内の公共土木施設状況（種子島地区）
- 3、資料3 熊毛支庁管内の公共土木施設状況（屋久島地区）
- 4、参考資料 協定書写し・実施要領・各文書様式

測量設計業協会より

- 1、資料1 平成28年度の連絡体制（鹿児島県測量設計業協会）
- 2、資料2 災害支援協力のフロー図
- 3、資料3 大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定（経緯）
- 4、資料4 大規模災害時における被害状況調査の支援協力

地質調査業協会より

- 1、資料1 大規模災害時における地質調査等の支援協力に関する協定経緯等
- 2、資料2 大規模災害時における地質調査等の災害支援協力要請実績表
- 3、資料3 大規模災害時における地質調査等の災害支援協力要請提出物様式
- 4、資料4 大規模災害時における地質調査業協会の緊急連絡先・支援本部連絡体系図

議事録

1. 開会挨拶

大塚部長挨拶・安永会長挨拶・宇都理事長挨拶

2. 平成28年度の連絡体制について

○資料1(熊毛支庁)、資料1(測量協会)、資料4(地質協会)に基づき連絡体制の説明

3. 熊毛支庁管内における公共土木施設状況について

○資料2、資料3(熊毛支庁)に基づき施設状況の説明

4. 支援協力について

測量協会(下水流理事)より、別紙資料に基づき平成28年度の災害協定について説明

○資料2・3・4(測量協会)に基づきフロー図、協定経緯、実施要領、留意事項の説明

地質協会(宇都理事長)より、別紙資料に基づき平成28年度の災害協定について説明

○資料1・2・3(地質協会)に基づき協定経緯、支援実績、留意事項の説明

5. 質疑応答

【支庁より】

・過年度の支援実績(始良伊佐・大島)の状況を教えてください。

【測量協会より】

・始良伊佐の振興局の課長より要請があり、実施した。この時支援を実際に行って諸事項を確認できたことが、その後の大島支庁で生かされた。

【支庁より】

・熊毛支庁管内では実績がないので、予行演習を行って連絡体制の確認を行った方がいいのではないか。

【支庁より】

・地質協会の支援実績表について、何人要請があり、何日要したかわかりますか？

【地質協会より】

・No.1、2については1班で実施した。安全上、1班3名を基本としている。現地で目視調査し、報告書を提出した。

No.3、4については調査報告の他、伸縮計の設置まで行った。

No.6については大規模崩壊だったので、今後の調査項目の提案も行った。

No.7については調査報告の他、ボーリング調査まで行った。

伸縮計設置、ボーリング調査については、県の費用負担でした。(随意契約とし、協会の方で班長の会社を推薦した)

【支庁より】

・本来の災害協定の主旨から言えば、ボーリング調査等は別案件で契約すべきであろう。

【支庁より】

・大規模災害でなくても、経験を積むために依頼をしても良いのではないだろうか。

【地質協会より】

・支援協力体制については、頼みやすいし透明性があると評価を頂いています。

【測量協会より】

- ・用地測量の品質確保のために、協会で用地測量マニュアルを作成しました。
従来は用地職員のための配布とされていたが、技術職員にも配布しますのでよりよい成果を作成するためにご活用下さい。

【支庁より】

- ・一人に一冊ですか？

【測量協会より】

- ・一人一冊です。

状 況 写 真



